

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)	目標等の公表先
05203横手市	①学校運営上の課題	02 社会に開かれた教育課程への対応	学校が抱える課題や地域課題を明確化し、その課題を解決するために、どのように学校と地域が連携・協働していけばいいかイメージできない。	教職員、地域学校協働活動推進員、地区交流センター長等を対象として、学校、地域双方の課題や取り組みを共有する意見交換の場を設ける。	令和6年度に、教職員、地域学校協働活動推進員、地区交流センター長等を対象とした「熟議」を実施し、意見交換の場を設けた。学校、地域双方の課題や取り組みを共有する意見交換の場は必要不可欠なため、引き続き研修会等を実施する。	学校、地域が連携・協働した事業に取り組むことができる。	市独自のCS評価書の項目2-1「地域住民が参画し、協働活動が行われている」の各校の平均値	3.06	その他	3.20	3.21	現状の数値3.06から、本年度は3.21と、目標値の3.2を達成することができた。コミュニティ・スクール導入4年目となり、学校と学校運営協議会委員双方方向の意見交換ができるようになってきている。	https://www.city.yokote.lg.jp/kuras/hi/1001140/1001242/1010543.htm
05203横手市	②学校と地域の課題	05 その他	地域住民にコミュニティ・スクール及び地域学校協働活動に対する認知が不足している。	・市報等で地域学校協働活動について掲載し、周知する。 ・地区交流センターと連携しセンター報等で周知する	センター報の掲載や、地区交流センター施設内での掲示等を実施している。より多くの地域の方々に地域学校協働活動に参画してもらうため、市報等を活用して引き続き周知する。	地域住民がコミュニティ・スクール及び地域学校協働活動の取り組みを知っている。	市独自のCS評価書の項目5「コミュニティ・スクールに関する情報発信について」の各校の平均値	2.77	その他	3.00	2.93	目標値を3.0としているが、昨年度の2.77から本年度は2.93へ改善した。学校運営協議会と地域学校協働活動を一体的に取り組んできた成果が現れ始めているが、取り組みを知ってもらうには、より多くの地域の方々に地域学校協働活動に参画してもらうことが必要であるため、引き続き、地区交流センターと連携しセンター報等で周知するほか、地域住民に対する地域学校協働活動の周知を進めていく。	https://www.city.yokote.lg.jp/kuras/hi/1001140/1001242/1010543.htm